



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」
2018年 駿台は創立100周年を迎えます

新聞社・通信社
教育担当各位

2016年12月2日
学校法人 駿河台学園 広報部

駿河台大学教養文化研究所主催公開シンポジウム開催
「芸術創造の新しいかたちを考えるー障害者アートの実践をめぐってー」

駿河台大学（埼玉県飯能市）教養文化研究所では、12月7日（水）に下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

今回は障害者アートの研究者である田中みわ子氏（東日本国際大学健康福祉学部 准教授）をお招きし、ベルギーの知的障害者による芸術団体クレアムの活動を紹介いただきます。そして、21世紀のグローバル時代における、創造活動の特徴と今後の可能性について考えます。

日 時：2016年12月7日（水）13：20～14：50 （開場 12：50）

会 場：駿河台大学飯能キャンパス 第二講義棟4階 7405教室

講演者：田中 みわ子氏（東日本国際大学健康福祉学部 准教授）

テーマ：「芸術創造の新しいかたちを考えるー障害者アートの実践をめぐってー」

その他：入場無料、事前申込不要

お問い合わせは、駿河台学園広報部（担当：中村）までご連絡ください。

（学）駿河台学園 広報部
TEL 03-5259-3231
FAX 03-5259-3057
E-mail public-s@sundai.ac.jp



芸術創造の新しいかたちを考える

—障害者アートの実践をめぐって—

12.7 水 13:20 ~ 14:50
開場 12:50

駿河台大学 7405 教室 [第2講義棟 4階]

講演者

田中みわ子 氏

東日本国際大学 健康福祉学部 准教授

21世紀のグローバル時代における芸術のかたちとは？

障害者アートの実践に注目しながら、その創造活動の特徴と今後の可能性を考える。

近年、障害のある人による芸術表現には、「アール・ブリュット」、「アウトサイダー・アート」をはじめとして、「アート・セラピー」や「コミュニティー・アート」などの潮流がある。それらの表現は、芸術・医療・福祉などの諸分野から研究されるとともに実践されてきた。障害者アートの研究者である田中みわ子氏が、ベルギーの知的障害者による芸術団体クレアムの実践について紹介する。それにより、障害者の芸術実践における創造性というものを浮かび上がらせたい。

申込不要・入場無料



お問い合わせ

駿河台大学 教務課
月～土曜日 9:00～17:00
TEL 042-972-1110